

福知山市 令和元年度事務事業評価シート

(単位：千円)

事業属性	担当課	消防本部 総務課											
	作成責任者	足立 豊											
	事業名	消防施設管理事業											
	会計情報	款	消防費	項	消防費	目	常備消防費	会計	一般会計	事業コード	550203	決算付属資料	頁
	施策体系	施策コード	040201	施策名	消防・救急・救助の体制を充実させる								
	開始年度	昭和56年度											
	終了予定年度	平成32年度											
	関連計画等	-											
	根拠法令等	消防組織法・消防法											
	事業区分	<input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input type="checkbox"/> 国府補助事業 <input type="checkbox"/> 市単独事業 <input checked="" type="checkbox"/> 内部庶務的事業 <input type="checkbox"/> その他 ()											

基礎情報	事業目的 (あるべき姿)	市民の生命、財産を守るため、火災、救急、救助、その他各種災害等に的確に対応できる消防力の維持強化										
	対象者								対象者数			
	実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助金交付 <input checked="" type="checkbox"/> 工事・修繕等 <input type="checkbox"/> その他 ()										
	委託先・実施主体等											
	事業概要	消防活動の拠点となる福知山消防署東分署及び北分署の施設維持管理										
	主な経費と具体的内容 (N-1年度実績)	項目	具体的な内容							H30経費(見込値)		
	需用費	消耗品費、燃料費、電気料、上下水道料、施設修繕料							4,246			
	役務費	電信電話料、手数料、損害保険料							936			
	使用料及び賃借料	複写機使用料、NHK受信料、電話装置賃借							463			
	備品購入費	事務用椅子							45			
関連事業	消防庁舎改修事業											

予算と執行の状況	区分	H28	H29	H30	R1	R2要求額	
	①当初	5,861	6,127	6,008	6,010		
	②補正予算			0			
	③流充用額	255	△ 45	0			
	④繰越額計	0	0	0	0		
	前年度繰越		0	0	0		
	次年度繰越		0	0	0		
	財源内訳(①③④内訳)						
	一般財源	5,154	5,120	5,046	4,967		
	国支出金	0	0	0	0		
	府支出金	0	0	0	0		
	地方債	0	0	0	0		
	その他特財	962	962	962	1,043		
	主な利用特財 (N-1年度実績値)	特財名称	種類		実績金額	決算付属資料	頁
		特財名称	種類		実績金額	決算付属資料	頁
人件費	従事職員数 (正職/嘱託)	1.53/0	1.44 / 0	1.6 / 0	1.6 / 0		
⑤概算人件費		12,240	11,520	12,800	12,800		
⑥総事業費 (3+2+3+4+5)		18,356	17,602	18,808	18,810		
⑦執行額		5,909	5,999	5,690	0		
執行率 (7/(1+2+3+4)×100)		96.6%	98.6%	94.7%	0.0%		

業績指標	成果実績 (アウトカム) 実績/当初目標	指標	単位	H28	H29	H30	R1	最終目標
		施設等に起因する活動支障発生回避率	%	100 / 100	100 / 100	100 / 100	/ 100	100
				/	/	/	/	
	活動実績 (アウトプット) 実績/当初見込	指標	単位	H28	H29	H30	R1	最終目標
		出動件数(火災・救急・救助)	件	1815	1880	1954	/	
		単位あたりコスト		3.3	3.2	2.9		
			0	0	/	/		
	単位あたりコスト		0.0	0.0	0.0			

項目		評価	評価に対する説明
必要性	市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か	○	消防救急体制の確保は市町村の義務であり、そのための消防施設の維持管理を適切かつ的確に実施する必要がある
	民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か	○	
	目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か	○	
効率性	受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か	○	消防施設の適切な維持管理に必要な経費について、その必要性を精査するとともに、職員の創意工夫により節減に努めている。
	他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか	○	
	コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか	○	
有効性	成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか	○	消防活動に支障を来すことのないように常に維持管理を適切に図り、活動しやすい環境の整備に努めることで消防力の維持強化を図っている
	活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか	○	
	先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか	○	
目的及び指標等の達成状況に対する評価		常に迅速な災害対応が実施できるよう、職員による日々の庁舎・施設・設備の維持管理は適切に実施できている。	
今後の課題及び方向性		施設設備の老朽化が進む中、消防に対するニーズはますます増え、消防活動についても高度化が進んでいる。的確な消防活動を実施するために必要な庁舎・施設等の計画的な環境の整備が必要である。	

所見	
二次評価 (庁内評価) 【行革担当課記入】	

所見	
三次評価 (外部評価) 【行革担当課記入】	

方針区分		内容
来年度方針 担当課の事業の見直し及び予算要求方針	<input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 他事業と統合し組替 <input type="checkbox"/> 予算縮減を伴う見直し <input type="checkbox"/> 予算増減のない見直し <input type="checkbox"/> 予算拡充を伴う見直し <input type="checkbox"/> 事業の見直しなし	
	予算額の反映状況(対H31) <input type="checkbox"/> 維持 <input type="checkbox"/> 組替 <input type="checkbox"/> 縮減 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 拡充	担当課の見直し・要求方針に対する所見【行革担当課記入】

福知山市 令和元年度事務事業評価シート

(単位：千円)

事業属性	担当課	消防本部 総務課											
	作成責任者	足立 豊											
	事業名	消防職員教育訓練事業											
	会計情報	款	消防費	項	消防費	目	常備消防費	会計	一般会計	事業コード	550209	決算付属資料	頁
	施策体系	施策コード	040201	施策名	消防・救急・救助の体制を充実させる								
	開始年度	昭和23年度											
	終了予定年度	平成32年度											
	関連計画等	-											
	根拠法令等	消防組織法・消防法											
	事業区分	<input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input type="checkbox"/> 国府補助事業 <input checked="" type="checkbox"/> 市単独事業 <input type="checkbox"/> 内部庶務的事業 <input type="checkbox"/> その他 ()											

基礎情報	事業目的 (あるべき姿)	市民の生命、財産を守るため、火災、救急、救助、その他各種災害等に的確に対応できる消防力の強化										
	対象者	消防職員	対象者数	130	単位あたりコスト	384.3						
	実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助金交付 <input type="checkbox"/> 工事・修繕等 <input checked="" type="checkbox"/> その他 (京都府立消防学校等への入校)										
	委託先・実施主体等											
	事業概要	京都府立消防学校各専科教育課程への入校および、各種研修・講習会等への参加										
	主な経費と 具体的内容 (N-1年度実績)	項目	具体的な内容							H30経費(見込値)		
		旅費	入校にかかる旅費							248		
		需用費	教材費、食糧費							82		
		役務費	受験手数料							48		
		使用料及び賃借料	受験、受講にかかる駐車料金							24		
負担金補助及び交付金		受講負担金、寮使用負担金							198			
関連事業	新採職員教育事業・消防職員高度教育訓練事業											

区分	H28	H29	H30	R1	R2要求額	
配当予算	①当初	774	821	755	782	
	②補正予算			0		
	③流充用額	1	△ 238	0		
	④繰越額計	0	0	0	0	
	前年度繰越		0	0	0	
	次年度繰越		0	0	0	
予算と執行の状況	財源内訳	775	583	755	782	
	一般財源					
	国支出金	0	0	0	0	
	府支出金	0	0	0	0	
	地方債	0	0	0	0	
	その他特財	0	0	0	0	
主な利用特財 (N-1年度実績値)	特財名称	種類		実績金額	決算付属資料	頁
	特財名称	種類		実績金額	決算付属資料	頁
人件費	3.62/0	3.76 / 0	6.15 / 0	6.15 / 0		
⑤概算人件費	28,960	30,080	49,200	49,200		
⑥総事業費 (3+2+3+4+5)	29,735	30,663	49,955	49,982		
⑦執行額	584	495	600	0		
執行率 (7/(1+2+3+4)×100)	75.4%	84.9%	79.5%	0.0%		

業績指標	成果実績 (アウトカム) 実績/当初目標	指標	単位	H28	H29	H30	R1	最終目標
		各業務への修了者配置率	%	100 / 100	100 / 100	100 / 100	/	100
活動実績 (アウトプット) 実績/当初見込	指標	単位	H28	H29	H30	R1	最終目標	
	消防学校入校課程数	課程	6 / 6	5 / 6	7 / 7	/	7	
	単位あたりコスト		97.3	99.0	85.7	/		
	単位あたりコスト		0.0	0.0	0.0	/		

項目		評価	評価に対する説明
必要性	市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か	○	消防活動の実施に必要な資格、知識の習得のため、必要な事業である
	民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か	○	
	目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か	○	
効率性	受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か	○	消防活動や業務に必要な不可欠な資格や知識・技術の習得を教育専門機関で研修することにより、集中的、専門的、効率的に習得している。
	他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか	○	
	コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか	○	
有効性	成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか	○	消防活動や業務に必要な不可欠で実践的な資格や知識・技術の習得であり、その成果は消防の各種業務や現場活動において直接的に活かされている。
	活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか	○	
	先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか	○	
目的及び指標等の達成状況に対する評価		当初計画どおり職員の資格取得、養成を実施できている。	
今後の課題及び方向性		今後は、当該事業において各種養成課程を受講した職員を中心とした指導体制やOJT、各業務の推進体制の確立など、全職員に対し、当該事業における教育効果を十分に波及させることのできる環境づくりに力を入れていく。	

所見	
二次評価 (庁内評価) 【行革担当課記入】	
三次評価 (外部評価) 【行革担当課記入】	

方針区分		内容
担当課の事業の見直し及び予算要求方針	<input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 他事業と統合し組替 <input type="checkbox"/> 予算縮減を伴う見直し <input type="checkbox"/> 予算増減のない見直し <input type="checkbox"/> 予算拡充を伴う見直し <input type="checkbox"/> 事業の見直しなし	
予算への反映 【財政担当課記入】	予算額の反映状況(対H31) <input type="checkbox"/> 維持 <input type="checkbox"/> 組替 <input type="checkbox"/> 縮減 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 拡充	担当課の見直し・要求方針に対する所見【行革担当課記入】

福知山市 令和元年度事務事業評価シート

(単位：千円)

事業属性	担当課	消防本部 総務課											
	作成責任者	足立 豊											
	事業名	新採職員教育事業											
	会計情報	款	消防費	項	消防費	目	常備消防費	会計	一般会計	事業コード	550211	決算付属資料	頁
	施策体系	施策コード	040201	施策名	消防・救急・救助の体制を充実させる								
	開始年度	昭和23年度											
	終了予定年度	平成32年度											
	関連計画等	-											
	根拠法令等	消防組織法・消防法											
	事業区分	<input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input type="checkbox"/> 国府補助事業 <input checked="" type="checkbox"/> 市単独事業 <input type="checkbox"/> 内部庶務的事業 <input type="checkbox"/> その他 ()											

基礎情報	事業目的 (あるべき姿)	新規採用職員に対し、消防職員として必要な基礎的な知識・技能を修得させる										
	対象者	新規採用職員	対象者数	4	単位あたりコスト	7,295.0						
	実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助金交付 <input type="checkbox"/> 工事・修繕等 <input checked="" type="checkbox"/> その他 (京都府立消防学校への入校)										
	委託先・実施主体等											
	事業概要	消防職員として必要な基礎的な知識・技能を修得するため、京都府立消防学校の初任科・救急科・救助科へ入校										
	主な経費と 具体的内容 (N-1年度実績)	項目	具体的な内容					H30経費(見込値)				
		旅費	入校にかかる旅費					363				
需用費		入校にかかる教材費、食糧費					888					
負担金補助及び交付金		受講負担金、入校にかかる寮使用負担金					343					
関連事業	消防職員教育訓練事業・消防職員高度教育訓練事業											

区分	H28	H29	H30	R1	R2要求額	
配当予算	①当初	2,864	3,183	1,900	2,167	
	②補正予算			0		
	③流充用額	△ 156	105	0		
	④繰越額計	0	0	0	0	
	前年度繰越		0	0	0	
	次年度繰越		0	0	0	
	財源内訳(①③④内訳)					
一般財源	2,708	3,288	1,900	2,167		
国支出金	0	0	0	0		
府支出金	0	0	0	0		
地方債	0	0	0	0		
その他特財	0	0	0	0		
主な利用特財 (N-1年度実績値)	特財名称		種類	実績金額	決算付属資料	頁
	特財名称		種類	実績金額	決算付属資料	頁
人件費	5.11/0	5.44 / 0	3.41 / 0	3.41 / 0		
⑤概算人件費	40,880	43,520	27,280	27,280		
⑥総事業費 (③+②+③+④+⑤)	43,588	46,808	29,180	29,447		
⑦執行額	2,708	3,288	1,594	0		
執行率 (⑦/(①+②+③+④)×100)	100.0%	100.0%	83.9%	0.0%		

業績指標	成果実績 (アウトカム) 実績/当初目標	指標	単位	H28	H29	H30	R1	最終目標
		教育課程修了者率	%	100 / 100	100 / 100	100 / 100	/ 100	100
活動実績 (アウトプット) 実績/当初見込	指標	単位	H28	H29	H30	R1	最終目標	
	教育課程への入校	人	5 / 5	6 / 6	4 / 4	/ 5		
	単位あたりコスト		541.6	548.0	398.5			
	回		/	/	/	/		
単位あたりコスト		0.0	0.0	0.0				

項目		評価	評価に対する説明
必要性	市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か	○	専門性の高い消防業務に従事するために、国の定めた教育課程を修了する必要がある
	民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か	○	
	目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か	○	
効率性	受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か	○	全国基準に基づき府県単位で設置された消防学校による専門的な教育の受講により効率的な教育が実施されている
	他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか	○	
	コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか	○	
有効性	成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか	○	消防職員として基礎的な知識・技能を確実に修得できる指導体制のもと、全員が無事課程を修了しており、卒業後の業務に従事している
	活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか	○	
	先事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか	○	
目的及び指標等の達成状況に対する評価		府立消防学校での新規採用者の教育については、確実に実施ができています。	
今後の課題及び方向性		今後も消防学校での基礎的な教育の受講体制をしっかりと維持し、併せて卒業後のOJTにより消防業務を適切に遂行できる人材の育成に努める。	

所見	
二次評価 (庁内評価) 【行革担当課記入】	
三次評価 (外部評価) 【行革担当課記入】	

方針区分		内容
来年度方針 担当課の事業の見直し及び予算要求方針	<input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 他事業と統合し組替 <input type="checkbox"/> 予算縮減を伴う見直し <input type="checkbox"/> 予算増減のない見直し <input type="checkbox"/> 予算拡充を伴う見直し <input type="checkbox"/> 事業の見直しなし	
	予算への反映 【財政担当課記入】	<input type="checkbox"/> 維持 <input type="checkbox"/> 組替 <input type="checkbox"/> 縮減 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 拡充

福知山市 令和元年度事務事業評価シート

(単位：千円)

事業属性	担当課	消防本部 総務課											
	作成責任者	足立 豊											
	事業名	消防職員高度教育訓練事業											
	会計情報	款	消防費	項	消防費	目	常備消防費	会計	一般会計	事業コード	550247	決算付属資料	頁
	施策体系	施策コード	040201	施策名	消防・救急・救助の体制を充実させる								
	開始年度	平成5年度											
	終了予定年度	平成32年度											
	関連計画等	-											
	根拠法令等	消防組織法・消防法											
	事業区分	<input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input type="checkbox"/> 国府補助事業 <input checked="" type="checkbox"/> 市単独事業 <input type="checkbox"/> 内部庶務的業務 <input type="checkbox"/> その他 ()											

基礎情報	事業目的 (あるべき姿)	市民の生命、財産を守るため、火災、救急、救助、その他各種災害等に的確に対応できる消防力の強化				
	対象者	消防職員	対象者数	8	単位あたりコスト	1,323.0
	実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助金交付 <input type="checkbox"/> 工事・修繕等 <input checked="" type="checkbox"/> その他 (消防大学校等への入校)				
	委託先・実施主体等					
	事業概要	消防力の強化を図るため、消防職員の高度教育の実施 ・救急救命士養成課程への入校 ・消防大学校各課程への入校 ・各種災害対応技術(山岳・流水など)や緊急車両操作技術向上のための各種講習会への入校 など				
	主な経費と 具体的内容 (N-1年度実績)	項目	具体的な内容		H30経費(見込値)	
		旅費	入校にかかる旅費		316	
需用費		入校にかかる教材費、食糧費、貸与被服		419		
役務費		受験手数料 等		37		
負担金補助及び交付金		受講負担金、寮使用負担金		2,425		
公課費	救急救命士免許申請に係る登録免許税		9			
関連事業	新採職員教育事業・消防職員教育訓練事業					

区分	H28	H29	H30	R1	R2要求額
配当予算	①当初	3,412	3,770	3,384	3,200
	②補正予算			0	
	③流充用額	△ 141	△ 7	0	
	④繰越額計	0	0	0	0
	前年度繰越		0	0	0
	次年度繰越		0	0	0
予算と執行の状況	一般財源	3,271	3,763	3,384	3,200
	国支出金	0	0	0	0
	府支出金	0	0	0	0
	地方債	0	0	0	0
	その他特財	0	0	0	0
	主な利用特財 (N-1年度実績値)	特財名称	種類	実績金額	決算付属資料
特財名称	種類	実績金額	決算付属資料	頁	
人件費	0.21 / 0	1.16 / 0	0.9 / 0	0.9 / 0	
⑤概算人件費	1,680	9,280	7,200	7,200	
⑥総事業費 (3+2+3+4+5)	4,951	13,043	10,584	10,400	
⑦執行額	992	3,622	3,206	0	
執行率 (7/(1+2+3+4)×100)	30.3%	96.3%	94.7%	0.0%	

業績指標	成果実績 (アウトカム) 実績/当初目標	指標	単位	H28	H29	H30	R1	最終目標
		救命士最低配置人員の確保	%		100 / 100	100 / 100	100 / 100	/ 100
	消防大学校各課程修了者配置率	%		100 / 100	100 / 100	100 / 100	/ 100	100%
活動実績 (アウトプット) 実績/当初見込		指標	単位	H28	H29	H30	R1	最終目標
		救命士養成課程への年間入校者数	人	0 / 1	1 / 1	1 / 1	/ 1	
		単位あたりコスト		0.0	3622.0	3206.0		
		消防大学校への年間入校者数	人	1 / 1	1 / 1	1 / 1	/ 1	
	単位あたりコスト		992.0	3622.0	3206.0			

項目		評価	評価に対する説明
必要性	市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か	○	刻々と変化する災害態様や住民のニーズに適切に対応するため、職員に最新で高度な消防技術や知識を取得させ、福知山消防の消防力の維持強化を図るため必要な事業である
	民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か	○	
	目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か	○	
効率性	受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か	○	その分野での指導的立場を担う職員を高度教育の専門機関へ派遣し、習得した知識・技術を他の職員に指導することで、最新の消防技術や知識を全職員にフィードバックすることで、消防組織全体の強化を図っている
	他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか	○	
	コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか	○	
有効性	成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか	○	救命士や各分野の専門家を計画的に養成することで、しっかりとした本市消防職員の教育指導体制を確立し、消防活動・消防業務の質の維持と向上が図れている
	活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか	○	
	先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか	○	
目的及び指標等の達成状況に対する評価		計画的な養成が実施できている。	
今後の課題及び方向性		住民の生命財産を専門的な知識と技術で守る消防としては、職員の教育訓練の実施は組織の維持と強化にとって絶対的に不可欠である。出勤体制を確保しながら、長期の研修に出向させる負担も大きい。常に計画的に安定した高度教育が実施できる人員配置等、教育環境を整えながら、個々の職員の能力や業務経験を見極め、将来にわたりその分野において推進的かつ指導的な役割を担う職員に対して教育を実施し、研修後の適切な人員配置を実施する。	

所見	
二次評価 (庁内評価) 【行革担当課記入】	

所見	
三次評価 (外部評価) 【行革担当課記入】	

来年度方針	方針区分	内容
	担当課の事業の見直し及び予算要求方針	<input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 他事業と統合し組替 <input type="checkbox"/> 予算縮減を伴う見直し <input type="checkbox"/> 予算増減のない見直し <input type="checkbox"/> 予算拡充を伴う見直し <input type="checkbox"/> 事業の見直しなし
予算への反映 【財政担当課記入】	予算額の反映状況(対H31) <input type="checkbox"/> 維持 <input type="checkbox"/> 組替 <input type="checkbox"/> 縮減 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 拡充	担当課の見直し・要求方針に対する所見【行革担当課記入】

福知山市 令和元年度事務事業評価シート

(単位：千円)

事業属性	担当課	消防本部 総務課											
	作成責任者	足立 豊											
	事業名	消防防災センター管理事業											
	会計情報	款	消防費	項	消防費	目	常備消防費	会計	一般会計	事業コード	550272	決算付属資料	頁
	施策体系	施策コード	040201	施策名	消防・救急・救助の体制を充実させる								
	開始年度	平成24年度											
	終了予定年度	平成32年度											
	関連計画等	-											
	根拠法令等	消防組織法・消防法											
	事業区分	<input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input type="checkbox"/> 国府補助事業 <input type="checkbox"/> 市単独事業 <input checked="" type="checkbox"/> 内部庶務的事業 <input type="checkbox"/> その他 ()											

基礎情報	事業目的 (あるべき姿)	市民の生命、財産を守るため、火災、救急、救助、その他各種災害等に的確に対応できる消防力の維持強化										
	対象者	対象者数 <input type="text"/> 単位あたりコスト <input type="text"/>										
	実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助金交付 <input checked="" type="checkbox"/> 工事・修繕等 <input type="checkbox"/> その他 ()										
	委託先・実施主体等	『フジテック株式会社近畿統括本部京滋支店』ほか11事業所に設備保守点検等を委託										
	事業概要	消防活動の拠点となる福知山市消防防災センター(福知山市消防本部・福知山消防署)の施設維持管理										
	主な経費と 具体的内容 (N-1年度実績)	項目	具体的な内容							H30経費(見込値)		
		需用費	消耗品費、燃料費、電気料、上下水道料、施設修繕料							13,732		
		役務費	電信電話料、、郵送料、手数料、損害保険料							1,294		
		委託料	各庁舎設備保守点検							4,296		
		使用料及び賃借料	複写機使用料、NHK受信料							566		
備品購入費		J-ALERT受信機、電話機、プリンター、事務室用ワゴン							2,114			
関連事業	消防庁舎改修事業											

区分	H28	H29	H30	R1	R2要求額	
配当予算	①当初	19,981	20,095	21,907	18,408	
	②補正予算			0		
	③流充用額	△ 812	751	500		
	④繰越額計	0	0	0	0	
	前年度繰越		0	0	0	
	次年度繰越		0	0	0	
予算と執行の状況	財源内訳(①③④内訳)					
	一般財源	17,195	18,858	18,641	16,445	
	国支出金	0	0	0	0	
	府支出金	0	0	0	0	
	地方債	0	0	1,600	0	
	その他特財	1,974	1,988	2,166	1,963	
	主な利用特財 (N-1年度実績値)	特財名称	種類	実績金額	決算付属資料	頁
	特財名称	種類	実績金額	決算付属資料	頁	
人件費	0.92/0	0.92 / 0	1.02 / 0	1.02 / 0		
⑤概算人件費	7,360	7,360	8,160	8,160		
⑥総事業費 (3+2+3+4+5)	26,529	28,206	30,567	26,568		
⑦執行額	18,230	20,623	22,002	0		
執行率 (7/(1+2+3+4)×100)	95.1%	98.9%	98.2%	0.0%		

業績指標	成果実績 (アウトカム) 実績/当初目標	指標	単位	H28	H29	H30	R1	最終目標
		施設等に起因する活動支障発生回避率	%		100 / 100	100 / 100	100 / 100	/ 100
活動実績 (アウトプット) 実績/当初見込	指標	単位	H28	H29	H30	R1	最終目標	
	出動件数(火災・救急・救助)	件	1927	1964	1795	/		
	単位あたりコスト		9.5	10.5	12.3			
	単位あたりコスト		0	0	/	/		
	単位あたりコスト		0.0	0.0	0.0			

項目		評価	評価に対する説明
必要性	市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か	○	消防救急体制の確保は市町村の義務であり、そのための消防施設の維持管理を適切かつ的確に実施する必要がある
	民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か	○	
	目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か	○	
効率性	受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か	○	消防施設の適切な維持管理に必要な経費について、その必要性を精査するとともに、職員の創意工夫により節減に努めている。
	他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか	○	
	コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか	○	
有効性	成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか	○	消防活動に支障を来すことのないように常に維持管理を適切に図り、活動しやすい環境の整備に努めることで消防力の維持強化を図っている
	活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか	○	
	先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか	○	
目的及び指標等の達成状況に対する評価		常に迅速な災害対応が実施できるよう、職員による日々の庁舎・施設・設備の維持管理は適切に実施できている。	
今後の課題及び方向性		消防に対するニーズはますます増え、消防活動についても高度化が進んでいる。平成24年に大規模災害にも対応可能な機能を備えた災害対応の拠点として整備した施設であり、年々修繕等の必要箇所も増加しているが、今後も、的確な消防活動を実施するために必要な庁舎・施設等の維持管理が必要である。	

所見	
二次評価 (庁内評価) 【行革担当課記入】	

所見	
三次評価 (外部評価) 【行革担当課記入】	

来年度方針	方針区分	内容
	担当課の事業の見直し及び予算要求方針	<input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 他事業と統合し組替 <input type="checkbox"/> 予算縮減を伴う見直し <input type="checkbox"/> 予算増減のない見直し <input type="checkbox"/> 予算拡充を伴う見直し <input type="checkbox"/> 事業の見直しなし
予算への反映 【財政担当課記入】	予算額の反映状況(対H31) <input type="checkbox"/> 維持 <input type="checkbox"/> 組替 <input type="checkbox"/> 縮減 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 拡充	担当課の見直し・要求方針に対する所見【行革担当課記入】

福知山市 令和元年度事務事業評価シート

(単位：千円)

事業属性	担当課	消防本部 総務課											
	作成責任者	足立 豊											
	事業名	消防活動事業											
	会計情報	款	消防費	項	消防費	目	常備消防費	会計	一般会計	事業コード	550285	決算付属資料	頁
	施策体系	施策コード	040201	施策名	消防・救急・救助の体制を充実させる								
	開始年度	昭和23年度											
	終了予定年度	平成32年度											
	関連計画等	-											
	根拠法令等	消防組織法・消防法											
	事業区分	<input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input type="checkbox"/> 国府補助事業 <input checked="" type="checkbox"/> 市単独事業 <input type="checkbox"/> 内部庶務的的事业 <input type="checkbox"/> その他 ()											

基礎情報	事業目的 (あるべき姿)	市民の生命、財産を守るため、火災、救急、救助、その他各種災害等に的確に対応できる消防力の維持強化												
	対象者	全市民	対象者数	78,935	単位あたりコスト	4.5								
	実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助金交付 <input checked="" type="checkbox"/> 工事・修繕等 <input type="checkbox"/> その他 ()												
	委託先・実施主体等	大槻ポンプ工業株式会社福知山営業所、株式会社モリタテクノス西日本営業部												
	事業概要	火災や救助、水難などの災害対応の実施 消防業務にかかる各種事務 必要な資機材、装備品の整備 車両の維持管理 職員の活動環境の整備 消防関係団体との連携、調整 など												
	主な経費と 具体的内容 (N-1年度実績)	項目	具体的な内容						H30経費(見込値)					
		需用費	消耗品、燃料費、車両修繕、備品修繕等						18,107					
		備品購入費	防火衣、空気呼吸器、消火用ホース 等						4,367					
		役務費	車検等点検手数料、自動車損害保険、消防業務賠償責任保険						1,916					
		公課費	自動車重量税						901					
委託料他		報償費、旅費、委託料、使用料及び賃借料、負担金補助及び交付金						1,541						
関連事業														

区分	H28	H29	H30	R1	R2要求額
配当予算	①当初	61,211	25,516	24,911	25,187
	②補正予算			0	
	③流充用額	726	1,637	2,000	
	④繰越額計	0	0	0	0
	前年度繰越		0	0	0
	次年度繰越		0	0	0
予算と執行の状況	一般財源	61,937	27,153	24,911	22,887
	国支出金	0	0	0	0
	府支出金	0	0	0	0
	地方債	0	0	0	0
	その他特財	0	0	2,000	2,300
	主な利用特財 (N-1年度実績値)	特財名称	種類	実績金額	決算付属資料
特財名称	種類	実績金額	決算付属資料	頁	
従事職員数 (正職/嘱託)	51.83/0	49.43 / 0	41.03 / 0	41.03 / 0	
⑤概算人件費	414,640	395,440	328,240	328,240	
⑥総事業費 (3+2+3+4+5)	476,577	422,593	355,151	353,427	
⑦執行額	60,919	26,705	26,832	0	
執行率 (7/(1+2+3+4)×100)	98.4%	98.4%	99.7%	0.0%	

業績指標	成果実績 (アウトカム) 実績/当初目標	指標	単位	H28	H29	H30	R1	最終目標
		本事業に起因する活動支障発生回避率	%		100 / 100	100 / 100	100 / 100	/ 100
活動実績 (アウトプット) 実績/当初見込	指標	単位	H28	H29	H30	R1	最終目標	
	出動件数(火災・救急・救助)	件	3742	3844	/	/		
	単位あたりコスト		16.3	6.9	0.0	/		
	単位あたりコスト		0.0	0.0	0.0	/		

項目		評価	評価に対する説明
必要性	市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か	○	消防業務の推進は市町村の義務であり、適切かつ確に実施する必要がある
	民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か	○	
	目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か	○	
効率性	受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か	○	常に費用対効果を念頭に、職員ひとりひとりが調査研究、工夫し、最小限の費用で有効な消防活動が実施できるよう取り組んでいる
	他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか	○	
	コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか	○	
有効性	成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか	○	真に必要な経費を計画的に計上し、適切に執行することで、消防活動の安定的な稼働につなげている
	活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか	○	
	先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか	○	
目的及び指標等の達成状況に対する評価	適切な予算の執行に加え、職員自らの知識や技能をもとに、高い投資効果を生む努力を重ねており、経費の有効な配分をはかり、より効果的で効率的な消防活動や消防業務を推進している。		
今後の課題及び方向性	今後も計画的な予算執行のもと、資機材や車両等必要な装備、機材の適切な維持管理を図り、加えて職員の知識や技能を更に向上することにより、その効果や有効性を更に高め、しっかりとした消防業務を展開していく。		

所見	
二次評価 (庁内評価) 【行革担当課記入】	

所見	
三次評価 (外部評価) 【行革担当課記入】	

来年度方針	方針区分	内容
	担当課の事業の見直し及び予算要求方針	<input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 他事業と統合し組替 <input type="checkbox"/> 予算縮減を伴う見直し <input type="checkbox"/> 予算増減のない見直し <input type="checkbox"/> 予算拡充を伴う見直し <input type="checkbox"/> 事業の見直しなし
予算への反映 【財政担当課記入】	予算額の反映状況(対H31) <input type="checkbox"/> 維持 <input type="checkbox"/> 組替 <input type="checkbox"/> 縮減 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 拡充	担当課の見直し・要求方針に対する所見【行革担当課記入】

福知山市 令和元年度事務事業評価シート

(単位：千円)

事業属性	担当課	消防本部 総務課											
	作成責任者	足立 豊											
	事業名	消防施設災害復旧事業											
	会計情報	款	災害復旧費	項	その他災害復旧費	目	その他災害復旧費	会計	一般会計	事業コード	550289	決算付属資料	頁
	施策体系	施策コード	040201	施策名	消防・救急・救助の体制を充実させる								
	開始年度	平成30年度											
	終了予定年度	平成30年度											
	関連計画等	-											
	根拠法令等	消防組織法・消防法											
	事業区分	<input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input type="checkbox"/> 国府補助事業 <input type="checkbox"/> 市単独事業 <input checked="" type="checkbox"/> 内部庶務的事業 <input type="checkbox"/> その他 ()											

基礎情報	事業目的 (あるべき姿)	平成30年7月豪雨による浸水等により破損した消防団施設・資機材及び消防水利の修繕を実施し、消防機能の復旧を図る。							
	対象者			対象者数			単位あたりコスト		
	実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助金交付 <input checked="" type="checkbox"/> 工事・修繕等 <input type="checkbox"/> その他 ()							
	委託先・実施主体等								
	事業概要	防火水槽のフェンス改修 防火水槽の浸漬(積泥除去) 消防団詰所・資機材破損箇所の修繕							
	主な経費と 具体的内容 (N-1年度実績)	項目	具体的な内容			H30経費(見込値)			
		需用費	施設修繕料、備品等修繕料			621			
役務費		浸漬手数料			1,390				
備品購入費		防火衣、畳			353				
関連事業									

予算と執行の状況	区分	H28	H29	H30	R1	R2要求額
	①当初			0	0	
	②補正予算			2,690		
	③流充用額			0		
	④繰越額計			0	0	
	前年度繰越		0	0	0	
	次年度繰越		0	0	0	
	財源内訳(①③④内訳)					
	一般財源			2,690	0	
	国支出金			0	0	
	府支出金			0	0	
	地方債			0	0	
	その他特財			0	0	
	主な利用特財 (N-1年度実績値)	特財名称	種類	実績金額	決算付属資料	頁
		特財名称	種類	実績金額	決算付属資料	頁
人件費	従事職員数 (正職/嘱託)	/	0.19 / 0	0.19 / 0		
⑤概算人件費			1,520	1,520		
⑥総事業費 (3+2+3+4+5)			4,210	1,520		
⑦執行額			2,364	0		
執行率 (7/(1+2+3+4)×100)			87.9%			

業績指標	成果実績 (アウトカム) 実績/当初目標	指標	単位	H28	H29	H30	R1	最終目標
		災害復旧率	%			100 / 100	/	100
	活動実績 (アウトプット) 実績/当初見込	指標	単位	H28	H29	H30	R1	最終目標
		修繕箇所数(地域数)	箇所			6 / 6	/	
		単位あたりコスト				394.0	/	
		単位あたりコスト					/	

項目		評価	評価に対する説明
必要性	市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か	○	消防救急体制の確保は市町村の義務であり、そのための消防施設の維持管理を適切かつ的確に実施する必要がある
	民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か	○	
	目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か	○	
効率性	受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か	○	災害による被害の復旧を迅速に実施することが出来ている。
	他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか	○	
	コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか	○	
有効性	成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか	○	災害による被害の復旧を早急に実施することで、消防力を維持することが出来た。
	活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか	○	
	先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか	○	
目的及び指標等の達成状況に対する評価		災害活動に必要な施設・設備の復旧に早急に取り組み、全ての復旧を完了した。	
今後の課題及び方向性		例年のように台風や大雨による被害が発生するなか、災害による被害を事前に軽減する対策等についても検討が必要である。	

所見	
二次評価 (庁内評価) 【行革担当課記入】	
三次評価 (外部評価) 【行革担当課記入】	

方針区分		内容
担当課の 事業の見直し 及び 予算要求方針	<input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 他事業と統合し組替 <input type="checkbox"/> 予算縮減を伴う見直し <input type="checkbox"/> 予算増減のない見直し <input type="checkbox"/> 予算拡充を伴う見直し <input type="checkbox"/> 事業の見直しなし	
	予算額の反映状況(対H31)	担当課の見直し・要求方針に対する所見【行革担当課記入】
予算への 反映 【財政担当課記入】	<input type="checkbox"/> 維持 <input type="checkbox"/> 組替 <input type="checkbox"/> 縮減 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 拡充	

福知山市 令和元年度事務事業評価シート

(単位：千円)

事業属性	担当課	消防本部 総務課											
	作成責任者	足立 豊											
	事業名	祝「特別表彰まとい」受賞記念事業											
	会計情報	款	消防費	項	消防費	目	常備消防費	会計	一般会計	事業コード	550258	決算付属資料	頁
	施策体系	施策コード	040201	施策名	消防・救急・救助の体制を充実させる								
	開始年度	平成30年度											
	終了予定年度	平成30年度											
	関連計画等	-											
	根拠法令等												
	事業区分	<input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input type="checkbox"/> 国府補助事業 <input checked="" type="checkbox"/> 市単独事業 <input type="checkbox"/> 内部庶務的事业 <input type="checkbox"/> その他 ()											

基礎情報	事業目的 (あるべき姿)	平成30年12月25日、消防団にとって最高荣誉の表彰である日本消防協会「特別表彰まとい」の受賞が決定したことを受け、設立以降本市防災を献身的に支えていただいた本市消防団の功績を讃え、その荣誉を祝し、更なる消防団の活性化を目指す。											
	対象者	消防団員	対象者数	1,772	単位あたりコスト	0.7							
	実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助金交付 <input type="checkbox"/> 工事・修繕等 <input type="checkbox"/> その他 ()											
	委託先・実施主体等												
	事業概要	受賞に伴う記念式典の実施 「特別表彰まとい」の消防防災センターへの設置・展示											
	主な経費と 具体的内容 (N-1年度実績)	項目	具体的な内容							H30経費(見込値)			
		報償費他	受賞にかかる報償費、旅費							149			
		需用費	印刷製本費							54			
		委託料	「特別表彰まとい」展示用ケース組立て・設置							100			
		使用料及び賃借料	施設使用料 等							130			
備品購入費		「特別表彰まとい」展示用ケース、あゆみ額							508				
関連事業													

予算と執行の状況	区分	H28	H29	H30	R1	R2要求額	
	配当予算	①当初			0	0	
		②補正予算			941		
		③流充用額			0		
		④繰越額計			0	0	
	繰越	前年度繰越		0	0	0	
		次年度繰越		0	0	0	
		一般財源			941	0	
	財源内訳 (①③④内訳)	国支出金			0	0	
		府支出金			0	0	
		地方債			0	0	
		その他特財			0	0	
	主な利用特財 (N-1年度実績値)	特財名称		種類	実績金額	決算付属資料	頁
		特財名称		種類	実績金額	決算付属資料	頁
	人件費	従事職員数 (正職/嘱託)		/	0.04 / 0	0.04 / 0	
⑤概算人件費				320	320		
⑥総事業費 (①+②+③+④+⑤)				1,261	320		
⑦執行額				941	0		
執行率 (⑦/(①+②+③+④)×100)				100.0%			

業績指標	成果実績 (アウトカム) 実績/当初目標	指標	単位	H28	H29	H30	R1	最終目標
		参加者数	人			/ 190	/	
							/	
	活動実績 (アウトプット) 実績/当初見込	指標	単位	H28	H29	H30	R1	最終目標
		記念式典開催				1 / 1	/	
		単位あたりコスト				941.0	/	
	単位あたりコスト					/		

項目		評価	評価に対する説明
必要性	市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か	○	古来より水害と戦ってきた本市にとって、荣誉ある表彰を受賞した消防団に対し、その活動に感謝し、市をあげてその功績を讃えることは、災害に強いまちづくりを推進し、消防団活動の活性化をはかる本市にとって重要なことである。
	民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か	○	
	目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か	○	
効率性	受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か	○	受賞後、速やかに式典を開催することで、機会を逸することなくその功績を讃えることが出来た。
	他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか	○	
	コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか	○	
有効性	成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか	○	式典の開催により広く受賞について周知を図り、その功績を讃えることで、高い評価を得た本市消防団の活動に対するより一層の理解と支援を得ることが出来る。
	活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか	○	
	先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか	○	
目的及び指標等の達成状況に対する評価		市防災を献身的に支えていただいた本市消防団の功績を市および多くの関係機関、関係者と讃えることが出来た。	
今後の課題及び方向性		これを契機に、消防団への感謝とその活動の重要性を多くの市民の方に再認識していただき、消防団への理解と積極的な支援、活動への参加につなげていくことが重要である。	

所見	
二次評価 (庁内評価) 【行革担当課記入】	

所見	
三次評価 (外部評価) 【行革担当課記入】	

方針区分		内容
担当課の 事業の見直し 及び 予算要求方針	<input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 他事業と統合し組替 <input type="checkbox"/> 予算縮減を伴う見直し <input type="checkbox"/> 予算増減のない見直し <input type="checkbox"/> 予算拡充を伴う見直し <input type="checkbox"/> 事業の見直しなし	
	予算額の反映状況(対H31)	担当課の見直し・要求方針に対する所見【行革担当課記入】
予算への 反映 【財政担当課記入】	<input type="checkbox"/> 維持 <input type="checkbox"/> 組替 <input type="checkbox"/> 縮減 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 拡充	

福知山市 令和元年度事務事業評価シート

(単位：千円)

事業属性	担当課	消防本部 総務課											
	作成責任者	足立 豊											
	事業名	消防出初式開催事業											
	会計情報	款	消防費	項	消防費	目	非常備消防費	会計	一般会計	事業コード	550217	決算付属資料	頁
	施策体系	施策コード	040201	施策名	消防・救急・救助の体制を充実させる								
	開始年度	昭和23年度											
	終了予定年度	平成32年度											
	関連計画等												
	根拠法令等	消防組織法、消防法、各表彰規程											
	事業区分	<input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input type="checkbox"/> 国府補助事業 <input checked="" type="checkbox"/> 市単独事業 <input type="checkbox"/> 内部庶務的事業 <input type="checkbox"/> その他 ()											

基礎情報	事業目的 (あるべき姿)	消防活動における功績と永年勤続者への功労をたたえと共に、災害の発生を抑制し、その被害の軽減を目指すため、消防出初式を挙行し、消防団員及び消防職員の士気の向上を図るとともに、市民の防火思想の普及を図る。											
	対象者	消防団員	対象者数	1,768	単位あたりコスト	8.9							
	実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助金交付 <input type="checkbox"/> 工事・修繕等 <input type="checkbox"/> その他 ()											
	委託先・実施主体等												
	事業概要	消防出初式の開催および各種表彰事務の実施											
	主な経費と 具体的内容 (N-1年度実績)	項目	具体的な内容							H30経費(見込値)			
		報償費	表彰徽章等表彰物件購入							376			
		需用費	出初式開催消耗品、表彰名簿印刷							381			
		役務費	案内状送付、クリーニング							9			
		委託料	シャトルバス運転代行業務委託							0			
使用料及び賃借料		式典会場等使用料							165				
関連事業													

予算と執行の状況	区分	H28	H29	H30	R1	R2要求額						
	配当予算	①当初	1,069	1,105	1,080	1,076						
		②補正予算										
		③流充用額	0	0	△ 47							
		④繰越額計	0	0	0	0						
	前年度繰越											
		次年度繰越										
	財源内訳 (①③④内訳)	一般財源	1,069	1,105	1,033	1,076						
		国支出金	0	0								
		府支出金	0	0								
		地方債	0	0								
		その他特財	0	0								
	主な利用特財 (N-1年度実績値)	特財名称	種類			実績金額	決算付属資料	頁				
		特財名称	種類			実績金額	決算付属資料	頁				
	人件費	0.81 / 0	1.07 / 0	1.84 / 0	1.84 / 0							
⑤概算人件費	6,480	8,560	14,720	14,720								
⑥総事業費 (3+2+3+4+5)	7,549	9,665	15,753	15,796								
⑦執行額	916	1,036	931									
執行率 (7/(1+2+3+4)×100)	85.7%	93.8%	90.1%	0.0%								

業績指標	成果実績 (アウトカム) 実績/当初目標	指標	単位	H28	H29	H30	R1	最終目標
		消防団員の条約定数に対する充足率	%	87 / 100	86 / 100	82 / 100	/ 100	100%
	活動実績 (アウトプット) 実績/当初見込	指標	単位	H28	H29	H30	R1	最終目標
		消防出初式の開催	回	1 / 1	1 / 1	1 / 1	/ 1	1
		表彰者数	人	427	474	388	/	0
		単位あたりコスト		2.1	2.2	2.4		

		項目	評価	評価に対する説明
一次評価 (担当課による自己評価)	必要性	市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か	○	消防活動等に対する功績を讃えるための事業であるとともに、消防職・団員の士気高揚を図り、安心安全なまちづくりへの誓いを新たにする式典であり、数値では推し量れない防火防災効果がある事業である。
		民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か	○	
		目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か	○	
	効率性	受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か	○	事業の実施経費については常に経費削減の工夫を図っている。
		他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか	○	
		コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか	○	
	有効性	成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか	△	数値的に有効性を図る手段に乏しく、直接的な効果も図りにくい事業であるが、日頃の消防活動に対する敬意を表すとともに、防火防災への誓いを新たにする事業であり、目的達成のためには有効な事業である。
		活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか	○	
		先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか	△	
	目的及び指標等の達成状況に対する評価	安心安全なまちづくりへの誓いを新たにする機会として、また、広く防災を市民のみなさんにアピールする機会として、年に一度、年始めに実施する消防出初式の意義は大きい。 消防職・団員の士気高揚とともに、市民のみなさんの消防と防災への意識の向上が図れた。(定性評価)		
	今後の課題及び方向性	消防団の活動に対する功労が十分に果たすことができ、団員自らのモチベーションにつながっているか、また、地元や市民の消防団活動への理解や支援につながっているか、引き続き検証を加えながら、事業効果を更に高める工夫を図っていく。		

		所見
庁内及び外部による評価 (棚卸し評価)	二次評価 (庁内評価) 【行革担当課記入】	
	三次評価 (外部評価) 【行革担当課記入】	

		方針区分	内容
来年度方針	担当課の事業の見直し及び予算要求方針	<input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 他事業と統合し組替 <input type="checkbox"/> 予算縮減を伴う見直し <input type="checkbox"/> 予算増減のない見直し <input type="checkbox"/> 予算拡充を伴う見直し <input type="checkbox"/> 事業の見直しなし	
	予算への反映 【財政担当課記入】	予算額の反映状況(対H31) <input type="checkbox"/> 維持 <input type="checkbox"/> 組替 <input type="checkbox"/> 縮減 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 拡充	担当課の見直し・要求方針に対する所見【行革担当課記入】

福知山市 令和元年度事務事業評価シート

(単位：千円)

事業属性	担当課	消防本部 総務課											
	作成責任者	足立 豊											
	事業名	消防団員訓練事業											
	会計情報	款	消防費	項	消防費	目	非常備消防費	会計	一般会計	事業コード	550234	決算付属資料	頁
	施策体系	施策コード	040201	施策名	消防・救急・救助の体制を充実させる								
	開始年度	昭和22年度											
	終了予定年度	平成32年度											
	関連計画等												
	根拠法令等	消防組織法、消防法											
	事業区分	<input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input type="checkbox"/> 国府補助事業 <input checked="" type="checkbox"/> 市単独事業 <input type="checkbox"/> 内部庶務的業務 <input type="checkbox"/> その他 ()											

基礎情報	事業目的 (あるべき姿)	消防団員として、各種の専門的な教育訓練や研修を受けることにより、安全かつ迅速的確な災害対応能力の向上を図る。						
	対象者	消防団員	対象者数	1,768	単位あたりコスト	8.0		
	実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助金交付 <input type="checkbox"/> 工事・修繕等 <input type="checkbox"/> その他 ()						
	委託先・実施主体等							
	事業概要	京都府立消防学校消防団教育への入校 各種研修の実施 操法大会の実施(隔年 H28・H30の実施)						
	主な経費と 具体的内容 (N-1年度実績)	項目	具体的な内容				H30経費(見込値)	
		旅費	知事表彰式、長官表彰式、幹部視察研修、操法指導科				538	
		需用費	操法大会消耗品、教材費(操法指導科、警防科)				455	
		使用料及び賃借料	バス借上(府操法大会、知事表彰式、視察研修)、操法大会会場使用料				600	
		備品購入費	操法大会用ホース購入				97	
役務費、負担金補助及び交付金		郵送料、クリーニング、京都府消防団員研修負担金				49		
関連事業	消防団員報償事業・消防団活動事業(消防本部総務課)							

区分	H28	H29	H30	R1	R2要求額	
配当予算	①当初	2,222	670	2,172	448	
	②補正予算					
	③流充用額	20	0	△ 433		
	④繰越額計	0	0	0	0	
前年度繰越						
予算と執行の状況	財源内訳	2,242	670	1,739	448	
	一般財源					
	国支出金	0	0			
	府支出金	0	0			
	地方債	0	0			
	その他特財	0	0			
主な利用特財 (N-1年度実績値)	特財名称		種類	実績金額	決算付属資料	頁
	特財名称		種類	実績金額	決算付属資料	頁
従事職員数 (正職/嘱託)	1.15/0	1.49 / 0	1.55 / 0	1.55 / 0		
⑤概算人件費	9,200	11,920	12,400	12,400		
⑥総事業費 (①+②+③+④+⑤)	11,442	12,590	14,139	12,848		
⑦執行額	2,229	553	1,739			
執行率 (⑦/(①+②+③+④)×100)	99.4%	82.5%	100.0%	0.0%		

成果実績 (アウトカム) 実績/当初目標	指標	単位	H28	H29	H30	R1	最終目標
	各分団教育修了者配置率	%		100 / 100	100 / 100	100 / 100	/ 100
			0	/	/	/	0
活動実績 (アウトプット) 実績/当初見込	指標	単位	H28	H29	H30	R1	最終目標
	消防学校消防団教育入校者数	人	64 / 90	68 / 87	56 / 87	/ 87	0
	単位あたりコスト		34.8	8.1	31.1		
			/	/	/	/	0
	単位あたりコスト		0.0	0.0	0.0		

項目		評価	評価に対する説明
必要性	市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か	○	刻々と変化する災害態様や住民のニーズに適切に対応し、安全かつ迅速的確な消防活動を実施するため、消防技術や知識の習得を図る必要がある。
	民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か	○	
	目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か	○	
効率性	受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か	○	各分団の指導的立場のものに対する指導研修を充実することで、効率的に全団員への知識、技能を伝承している。
	他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか	○	
	コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか	○	
有効性	成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか	○	当該事業の実施により、安全的確な消防団活動が実施できるものである。
	活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか	○	
	先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか	○	
目的及び指標等の達成状況に対する評価		消防活動における知識や技術の不足等による重大な公務災害の発生はなく、安全で迅速的確な消防活動が実施できている。	
今後の課題及び方向性		団員の高齢化や就業形態の変化、団員数の減少、更には近年多発する風水害に対する活動の増加など、消防団を取り巻く環境は厳しさを増している。安全で的確な活動を行うための技術・知識の伝承だけでなく、新たな訓練の導入や実施方法の検討など創意工夫が必要である。	

所見	
二次評価 (庁内評価) 【行革担当課記入】	

所見	
三次評価 (外部評価) 【行革担当課記入】	

来年度方針	方針区分	内容
	担当課の事業の見直し及び予算要求方針	<input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 他事業と統合し組替 <input type="checkbox"/> 予算縮減を伴う見直し <input type="checkbox"/> 予算増減のない見直し <input type="checkbox"/> 予算拡充を伴う見直し <input type="checkbox"/> 事業の見直しなし
予算への反映 【財政担当課記入】	予算額の反映状況(対H31) <input type="checkbox"/> 維持 <input type="checkbox"/> 組替 <input type="checkbox"/> 縮減 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 拡充	担当課の見直し・要求方針に対する所見【行革担当課記入】

福知山市 令和元年度事務事業評価シート

(単位：千円)

事業属性	担当課	消防本部 総務課											
	作成責任者	足立 豊											
	事業名	消防団員報償事業											
	会計情報	款	消防費	項	消防費	目	非常備消防費	会計	一般会計	事業コード	550239	決算付属資料	頁
	施策体系	施策コード	040201	施策名	消防・救急・救助の体制を充実させる								
	開始年度	昭和24年度											
	終了予定年度	平成32年度											
	関連計画等												
	根拠法令等	消防組織法、消防法、福知山市消防団員等公務災害等補償条例、福知山市非常勤消防団員に係る退職報償金の支給に関する条例											
	事業区分	<input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input type="checkbox"/> 国府補助事業 <input checked="" type="checkbox"/> 市単独事業 <input type="checkbox"/> 内部庶務的業務 <input type="checkbox"/> その他 ()											

基礎情報	事業目的 (あるべき姿)	消防団員の活動に対する各種保障、報償の的確な実施。						
	対象者	消防団員	対象者数	1,768	単位あたりコスト	68.5		
	実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助金交付 <input type="checkbox"/> 工事・修繕等 <input type="checkbox"/> その他 ()						
	委託先・実施主体等							
	事業概要	消防団員の退団にかかる事務手続きの実施や退職報償金の支給 公務災害補償等の実施						
	主な経費と 具体的内容 (N-1年度実績)	項目	具体的な内容				H30経費(見込値)	
		報償費	消防団員退職報償金 154人、退職記念品				66,080	
		災害補償費	遺族補償年金、消防団員公務災害補償 6人				1,981	
		需用費	退職団員に係る感謝状				37	
		役務費	郵送料				12	
負担金補助及び交付金		消防団員等公務災害補償等共済基金掛金				45,852		
関連事業	消防団員報償事業・消防団活動事業(消防本部総務課)							

区分	H28	H29	H30	R1	R2要求額		
配当 予算	①当初	120,136	65,961	119,953	65,938		
	②修正予算						
	③流充用額	0	0	△ 2,500			
	④繰越額計	0	0	0	0		
	前年度繰越						
	次年度繰越						
予算と執行の 状況	財源内訳	46,387	45,912	43,713	45,907		
	一般財源						
	国支出金	0	0				
	府支出金	0	0				
	地方債	0	0				
	その他特財	73,749	20,049	73,740	20,031		
	主な利用特財 (N-1年度実績値)	特財名称		種類	実績金額	決算付属資料	頁
		特財名称		種類	実績金額	決算付属資料	頁
人件費	0.20/0	0.22 / 0	0.45 / 0	0.45 / 0			
⑤概算人件費	1,600	1,760	3,600	3,600			
⑥総事業費 (3+2+3+4+5)	121,736	67,721	121,053	69,538			
⑦執行額	115,393	61,380	113,962				
執行率 (7/(1+2+3+4)×100)	96.1%	93.1%	97.0%	0.0%			

業績指標	成果実績 (アウトカム) 実績/当初目標	指標	単位	H28	H29	H30	R1	最終目標	
		確実な支給	%		100 / 100	100 / 100	100 / 100	/ 100	100
		0		/	/	/	/	0	
活動実績 (アウトプット) 実績/当初見込	退職金の支給	指標	単位	H28	H29	H30	R1	最終目標	
			人	155	39	154	/	0	
			単位あたりコスト		744.5	1573.8	740.0		
			公務災害補償の実施	件	5	3	6	/	0
		単位あたりコスト		23078.6	20460.0	18993.7			

項目		評価	評価に対する説明
必要性	市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か	○	条例で既定する消防団員の退職報償金の支払いや公務災害補償の確実な実施のため必要な事業である。
	民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か	○	
	目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か	○	
効率性	受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か	○	公務災害補償基金への掛金の支払いによって、確実な支給体制を確保している。掛金の額は条例定数を元に算定しているが、団員確保が困難となり、条例定数と実員に乖離があることから、適正な条例定数について検討を行っている。
	他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか	○	
	コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか	△	
有効性	成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか	○	確実な予算措置と公務災害補償基金への掛金の支払いにより、条例で既定する退職報償金の支払いや公務災害補償の確実な実施を実現している
	活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか	○	
	先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか	○	
目的及び指標等の達成状況に対する評価		確実に実施できている。	
今後の課題及び方向性		公務災害補償の掛金は条例定数を元に算定されており、消防団員数が年々減少する中、条例定数と実員に乖離があり、掛金の額の妥当性について検討する必要がある中、近年多発する大規模災害など多岐にわたる消防団活動に耐えうる適正な条例定数について検討を行っている。	

所見	
二次評価 (庁内評価) 【行革担当課記入】	

所見	
三次評価 (外部評価) 【行革担当課記入】	

方針区分		内容
担当課の 事業の見直し 及び 予算要求方針	<input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 他事業と統合し組替 <input type="checkbox"/> 予算縮減を伴う見直し <input type="checkbox"/> 予算増減のない見直し <input type="checkbox"/> 予算拡充を伴う見直し <input type="checkbox"/> 事業の見直しなし	
	予算額の反映状況(対H31)	担当課の見直し・要求方針に対する所見【行革担当課記入】
予算への 反映 【財政担当課記入】	<input type="checkbox"/> 維持 <input type="checkbox"/> 組替 <input type="checkbox"/> 縮減 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 拡充	

福知山市 令和元年度事務事業評価シート

(単位：千円)

事業属性	担当課	消防本部 総務課											
	作成責任者	足立 豊											
	事業名	消防団施設管理事業											
	会計情報	款	消防費	項	消防費	目	非常備消防費	会計	一般会計	事業コード	550245	決算付属資料	頁
	施策体系	施策コード	040201	施策名	消防・救急・救助の体制を充実させる								
	開始年度	昭和22年度											
	終了予定年度	平成32年度											
	関連計画等												
	根拠法令等	消防組織法、消防法											
	事業区分	<input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input type="checkbox"/> 国府補助事業 <input type="checkbox"/> 市単独事業 <input checked="" type="checkbox"/> 内部庶務的事業 <input type="checkbox"/> その他 ()											

基礎情報	事業目的 (あるべき姿)	市民の生命・財産を守るため、消防団による災害対応を万全なものとし、各地域の消防力の充実強化を図る。													
	対象者											対象者数		単位あたりコスト	
	実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助金交付 <input type="checkbox"/> 工事・修繕等 <input type="checkbox"/> その他 ()													
	委託先・実施主体等	株式会社かんと一す													
	事業概要	消防団車庫・詰所の維持管理													
	主な経費と 具体的内容 (N-1年度実績)	項目	具体的な内容										H30経費(見込値)		
		需用費	消防団車庫詰所の電気、水道料及び施設修繕費										5,074		
		役員費	建物総合損害共済基金分担金、浄化槽検査手数料										146		
		委託料	上川1部2班し尿浄化槽維持管理業務										60		
		使用料及び賃借料	用地使用料										10		
関連事業	消防団活動事業(消防本部総務課)														

区分	H28	H29	H30	R1	R2要求額	
配当予算	①当初	5,113	5,240	4,810	4,768	
	②補正予算					
	③流充用額	0	0	480		
	④繰越額計	0	0	0	0	
前年度繰越						
予算と執行の状況	財源内訳(①③④内訳)	5,113	5,240	5,290	4,768	
	一般財源	5,113	5,240	5,290	4,768	
	国支出金	0	0			
	府支出金	0	0			
	地方債	0	0			
	その他特財	0	0			
主な利用特財 (N-1年度実績値)	特財名称	種類		実績金額	決算付属資料	頁
	特財名称	種類		実績金額	決算付属資料	頁
人件費	0.20/0.10	0.17 / 0.1	0.21 / 0.1	0.21 / 0.1		
⑤概算人件費	1,850	1,610	1,930	1,930		
⑥総事業費 (3+2+3+4+5)	6,963	6,850	7,220	6,698		
⑦執行額	4,614	4,752	5,290			
執行率 (7/(1+2+3+4)×100)	90.2%	90.7%	100.0%	0.0%		

業績指標	成果実績 (アウトカム) 実績/当初目標	指標	単位	H28	H29	H30	R1	最終目標
		本事業に起因する活動支障発生回避率	%		100 / 100	100 / 100	100 / 100	/ 100
活動実績 (アウトプット) 実績/当初見込	管理施設数	指標	単位	H28	H29	H30	R1	最終目標
		件		89	87	87	/	0
		単位あたりコスト		51.8	54.6	60.8		
				/	/	/	/	0
		単位あたりコスト		0.0	0.0	0.0		

		項目	評価	評価に対する説明
一次評価 (担当課による自己評価)	必要性	市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か	○	消防業務は市町村の義務であり、そのための消防施設の維持管理を適切かつ的確に実施する必要がある。
		民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か	○	
		目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か	○	
	効率性	受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か	△	施設管理については公共施設マネジメント計画に基づいた統合再編等も加味しながら、災害活動に支障のない範囲で必要最低限のコストによる維持管理を図っている。
		他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか	△	
		コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか	○	
	有効性	成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか	○	消防活動に支障を来すことのないように常に維持管理を適切に図り、活動しやすい環境の整備に努めることで消防力の充実強化を図っている。
		活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか	○	
		先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか	○	
		目的及び指標等の達成状況に対する評価	現状、消防団の実施する消防活動に大きな支障を来たすような消防施設の不具合は発生しておらず、適切に管理していると評価できる。	
	今後の課題及び方向性	大変多くの施設を有し、施設設備の老朽化も進んでいることから、継続して施設の現状把握に努め、引き続き適切な計画による維持管理を実施していく必要がある。 また、近年災害が多発する中、正確な情報に基づく迅速・的確な指示と、これに基づく現場活動が必要不可欠であり、消防団の情報収集に必要となる設備等について、消防団の意見を聞きながら検討していく必要がある。		

		所見
二次評価 (庁内評価) 【行革担当課記入】		

		所見
三次評価 (外部評価) 【行革担当課記入】		

来年度方針	方針区分	内容
	担当課の事業の見直し及び予算要求方針 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 他事業と統合し組替 <input type="checkbox"/> 予算縮減を伴う見直し <input type="checkbox"/> 予算増減のない見直し <input type="checkbox"/> 予算拡充を伴う見直し <input type="checkbox"/> 事業の見直しなし	
予算への反映 【財政担当課記入】	予算額の反映状況(対H31) <input type="checkbox"/> 維持 <input type="checkbox"/> 組替 <input type="checkbox"/> 縮減 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 拡充	担当課の見直し・要求方針に対する所見【行革担当課記入】

福知山市 令和元年度事務事業評価シート

(単位：千円)

事業属性	担当課	消防本部 総務課											
	作成責任者	足立 豊											
	事業名	消防団活動事業											
	会計情報	款	消防費	項	消防費	目	非常備消防費	会計	一般会計	事業コード	550286	決算付属資料	頁
	施策体系	施策コード	040201	施策名	消防・救急・救助の体制を充実させる								
	開始年度	昭和22年度											
	終了予定年度	平成32年度											
	関連計画等												
	根拠法令等	消防組織法、消防法											
	事業区分	<input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input type="checkbox"/> 国府補助事業 <input checked="" type="checkbox"/> 市単独事業 <input type="checkbox"/> 内部庶務的業務 <input type="checkbox"/> その他 ()											

基礎情報	事業目的 (あるべき姿)	消防団は「地域密着性」「要員動員力」「即時対応力」を持ち、地域防災の要として市民の安心安全のため、大きな役割を果たしていることから、消防団による活動環境をしっかりと整備し、地域の消防力の強化を図る。						
	対象者	消防団員	対象者数	1,768	単位あたりコスト	78.8		
	実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助金交付 <input type="checkbox"/> 工事・修繕等 <input type="checkbox"/> その他 ()						
	委託先・実施主体等							
	事業概要	消防団員報酬、災害出動に伴う出動費用弁償の支給 消防団活動資機材、備品購入 消防団車両の維持管理(車検整備、法定点検、燃料費、修繕経費) 消防団関係団体分担金の支出、近隣消防団との相互応援						
	主な経費と 具体的内容 (N-1年度実績)	項目	具体的な内容				H30経費(見込値)	
		報酬	消防団員報酬、機関手当				49,088	
		旅費	消防団員出動費用弁償、実費弁償				24,240	
		需用費	消耗品、車両維持費、消防団員用ヘルメット等購入				13,033	
		備品購入費	消火用ホース等購入				1,996	
役務費 他		役務費、公課費、交際費、使用料及び賃借料、負担金補助及び交付金				8,910		
関連事業	消防団員訓練事業・消防団員報償事業・消防団施設管理事業(消防本部総務課)							

区分	H28	H29	H30	R1	R2要求額	
配当 予算	①当初	105,017	100,217	100,730	95,451	
	②補正予算					
	③流充用額					
	④繰越額計	0	0	0	0	
	前年度繰越					
	次年度繰越					
予算と執行の 状況	財源内訳					
	一般財源	103,599	99,071	100,638	95,366	
	国支出金	0	0			
	府支出金	1,305	0			
	地方債	0	0			
	その他特財	93	1,093	92	85	
主な利用特財 (N-1年度実績値)	特財名称		種類	実績金額	決算付属資料	頁
	特財名称		種類	実績金額	決算付属資料	頁
従事職員数 (正職/嘱託)	3.39/0.9	3.47 / 0.9	4.54 / 0.9	4.54 / 0.9		
⑤概算人件費	29,370	30,010	38,570	38,570		
⑥総事業費 (3+2+3+4+5)	134,367	130,174	139,300	134,021		
⑦執行額	100,161	95,737	97,267			
執行率 (7/(1+2+3+4)×100)	95.4%	95.6%	96.6%	0.0%		

業績指標	成果実績 (アウトカム) 実績/当初目標	指標	単位	H28	H29	H30	R1	最終目標
		消防団員の条例定数に対する充足率	%		87 / 100	86 / 100	82 / 100	/ 100
活動実績 (アウトプット) 実績/当初見込	災害出動件数	指標	単位	H28	H29	H30	R1	最終目標
		件	件	40	58	29	/	0
		単位あたりコスト		2504.0	1650.6	3354.0		
				/	/	0	/	0
		単位あたりコスト		0.0	0.0	0.0		

		項目	評価	評価に対する説明
一次評価 (担当課による自己評価)	必要性	市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か	○	地域の安心安全のため、消防団は欠くことのできない存在であり、そのための活動を市としてしっかりと維持する必要がある。
		民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か	○	
		目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か	○	
	効率性	受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か	○	消防団員の更なる活動環境の改善のため、予算等の効率的な配分について更に検討が必要である。
		他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか	△	
		コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか	○	
	有効性	成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか	△	消防団の活動が十分に実施できるよう、事業効果を検証し、より効果的な方策を模索する必要がある。
		活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか	△	
		先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか	△	
	目的及び指標等の達成状況に対する評価	消防団を取り巻く環境が一段と厳しさを増す中、現況の事業が十分に消防団活動を支えるものとなっているかどうかについては、検証が必要である。		
	今後の課題及び方向性	資機材や活動服等の老朽化が進む中、その整備・更新に係る経費が課題となるが、安全と負担軽減を図れるよう検討を行っていく必要がある。また、団員確保が困難になる中、消防団の活動内容はますます多岐に渡り、団員の負担は増している。近年多発する大規模災害など多岐にわたる消防団活動に耐えうる適正な条例定数について検討を行う中で、団員の負担軽減、安全・確実な現場活動に繋げていく必要がある。		

		所見
庁内及び外部による評価 (二次評価) 【行革担当課記入】		

		所見
三次評価 (外部評価) 【行革担当課記入】		

		方針区分	内容
来年度方針	担当課の事業の見直し及び予算要求方針	<input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 他事業と統合し組替 <input type="checkbox"/> 予算縮減を伴う見直し <input type="checkbox"/> 予算増減のない見直し <input type="checkbox"/> 予算拡充を伴う見直し <input type="checkbox"/> 事業の見直しなし	
	予算への反映 【財政担当課記入】	予算額の反映状況(対H31) <input type="checkbox"/> 維持 <input type="checkbox"/> 組替 <input type="checkbox"/> 縮減 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 拡充	担当課の見直し・要求方針に対する所見【行革担当課記入】